

令和6年度 労働安全・健康管理講習会

令和6年7月31日（水）に新潟県建設会館において「令和6年度 労働安全・健康管理講習会」を開催し、53名の方々が参加されました。

佐治会長から「能登半島地震では、地震による被害の大きさを痛感するとともに一日も早い復旧・復興を願って会員各位から災害復旧業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。この7月1日から全国安全週間が実施され、当協会においても労働災害の未然防止に向けて、例年、この時期に講習会を開催していますが、本日の講習会を契機に労働安全と健康管理の意識を更に高めて『安全で健康で働ける職場づくり』を各職場一体となって取り組んでいただきたいと思います。」との挨拶があり、次の内容で講義を受けました。

第一部

- 演題 「健康経営と歯科」
- 講師 （一社）新潟県歯科医師会 常務理事 木戸 寿明 様
- 内容 体が健康な人は歯も丈夫で一人当たりの医療費が低くなっている。咀嚼できることは健康の証で長生きにつながる。「健康経営」とは、健康管理と経営的視点から考え戦略的に実践することであり、企業が従業員の健康保持・増進に取り組むことで企業のイメージアップや若い人が働きたいと思う職場になるという好循環につながっていく。

第二部

- 演題 「労働災害の現状と防止対策を考える」
- 講師 建設業労働災害防止協会新潟県支部
安全衛生推進員／安全衛生指導員 山田 宏明 様
- 内容 不安全行動やヒューマンエラーは、人間の本質に由来するもので安全ルールの遵守・継続は至難の業である。労働災害起こさないためには、①作業手順と安全ルールの遵守、②危険に対する感受性と想像力を磨く、③「危ない」と声を出す勇気を持つ。この3つの安全行動の徹底が重要である。



木戸 講師

山田 講師